

科 目 名		学年	
情報処理VI : Information Processing VI		5C	
教 員 名 岡本 昌幸 : OKAMOTO Masayuki			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	必修	講義・後期
学修単位 ○			
授 業 概 要	4年生で習得した入門知識を基礎にして、実用的なプログラミングの方法を学ぶ。データのソート、ファイルの処理および簡単な成績処理システムの製作などを通して実用的なプログラムとはどのようなものなのかを学ぶ。また、データ構造や再帰プログラミングなどの高度な技法も習得する。		
到 達 目 標		評 価 方 法	
1. データのソートと構造体の概念が理解できる。 2. 小さいシステムを製作することができる。 3. 高学年にふさわしい報告書が書ける。		評価方法は、①中間試験、②期末試験、③レポートの3つを考慮する。評価配分は①40%、②40%、③20%とする。	
学 習 ・ 教 育 目 標		(B)①	JABEE基準1(1)
			(c)
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	ポイントの復習	ポイントの復習をする。
	第2	構造体	構造体の基礎を学ぶ。
	第3	線形リスト	構造体を使用して線形リストの学習をする。
	第4	線形リスト	構造体を使用して線形リストの学習をする。
	第5	データ検索	構造体を使用して線形リストの学習をする。
	第6	演習1	線形リストの挿入、削除の基本を学習する。
	第7	演習1	線形リストの挿入、削除の基本を学習する。
	第8	演習1	線形リストを利用した検索を行う。
	第9	データのソートと検索	種々のソートアルゴリズムを学ぶ。
	第10	データのソートと検索	種々のソートアルゴリズムを学ぶ。
	第11	データのソートと検索	種々のソートアルゴリズムを学ぶ。
	第12	演習2	検索とソートプログラムの実際を学ぶ。
	第13	演習2	検索とソートプログラムの実際を学ぶ。
	第14	演習2	検索とソートプログラムの実際を学ぶ。
	第15	まとめ	情報処理全体のまとめを行う。
自 学 自 習 の 内 容		各授業の最後に復習・予習内容を指示する。	
関 連 科 目		情報処理 I-V	
教 科 書		C言語によるプログラミング基礎編(内田智史:オーム社)	
参 考 書		C言語によるプログラミング応用編(内田智史:オーム社)	
授 業 評 価 ・ 理 解 度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副 担 当 教 員		高田 陽一 : TAKATA Yoichi	
備 考			